

Press Release



8 . 9 . 1 8

南予地方局

北灘湾における麻痺（まひ）性貝毒の終息について

- 1 本年4月30日に宇和島市北灘湾の天然マガキから規制値（4マウスユニット/g（以下「MU/g」という。））を超える7.7MU/gの麻痺性貝毒が検出されたことから、宇和島市及び愛媛県漁協北灘支所に対し安全性が確認されるまで同海域で採捕された二枚貝を取り扱わないように指導するとともに、立看板を設置して住民が自家消費をしないよう注意喚起をしていたところです。
- 2 その後、県水産研究センターのモニタリング調査の結果で、毒化の原因プランクトンであるギムノディニウム・カテナータムの濃度は7月22日以降、基準値（0.05細胞/ml）以下で推移しました。こうした状況を踏まえ、9月2日以降、（一財）食品環境検査協会（神戸市）において天然マガキで貝毒検査を実施したところ、3回連続して規制値未満となり、出荷自主規制解除の要件が整いました。
- 3 これを受け、県では、宇和島市北灘湾における麻痺性貝毒は終息したと判断しましたので、お知らせします。

○お問い合わせ先

南予地方局農林水産振興部水産課

担当者：課長 薬師寺 房憲

副主幹 梶田 陽一郎

TEL 0895-28-6148

採捕規制解除区域、貝毒プランクトン調査地点及び立看板設置箇所



貝毒プランクトン濃度と貝毒検査の結果

採取日	プランクトン濃度 ※1	貝毒検査 ※2
4月 6日	0.032 細胞/ml	—
4月 20日	0.350 細胞/ml	3.7 マウスユニット/g
4月 21日	1.820 細胞/ml	
4月 27日	0.281 細胞/ml	7.7 マウスユニット/g
6月 29日	8 細胞/ml	
7月 8日	0.053 細胞/ml	
7月 22日	0.037 細胞/ml	
8月 3日	0 細胞/ml	
9月 2日	0 細胞/ml	検出限界未満
9月 9日	0 細胞/ml	検出限界未満
9月 16日	0 細胞/ml	検出限界未満

※1 プランクトン濃度

暫定基準値Ⅰ: 0.05 細胞/ml 貝毒プランクトンの増加を注視すべき濃度

暫定基準値Ⅱ: 0.10 細胞/ml 貝毒プランクトンが二枚貝を毒化させる危険濃度

※2 貝毒規制値: 4.0MU/g

二枚貝の採捕及び出荷の自主規制を指導する貝毒濃度